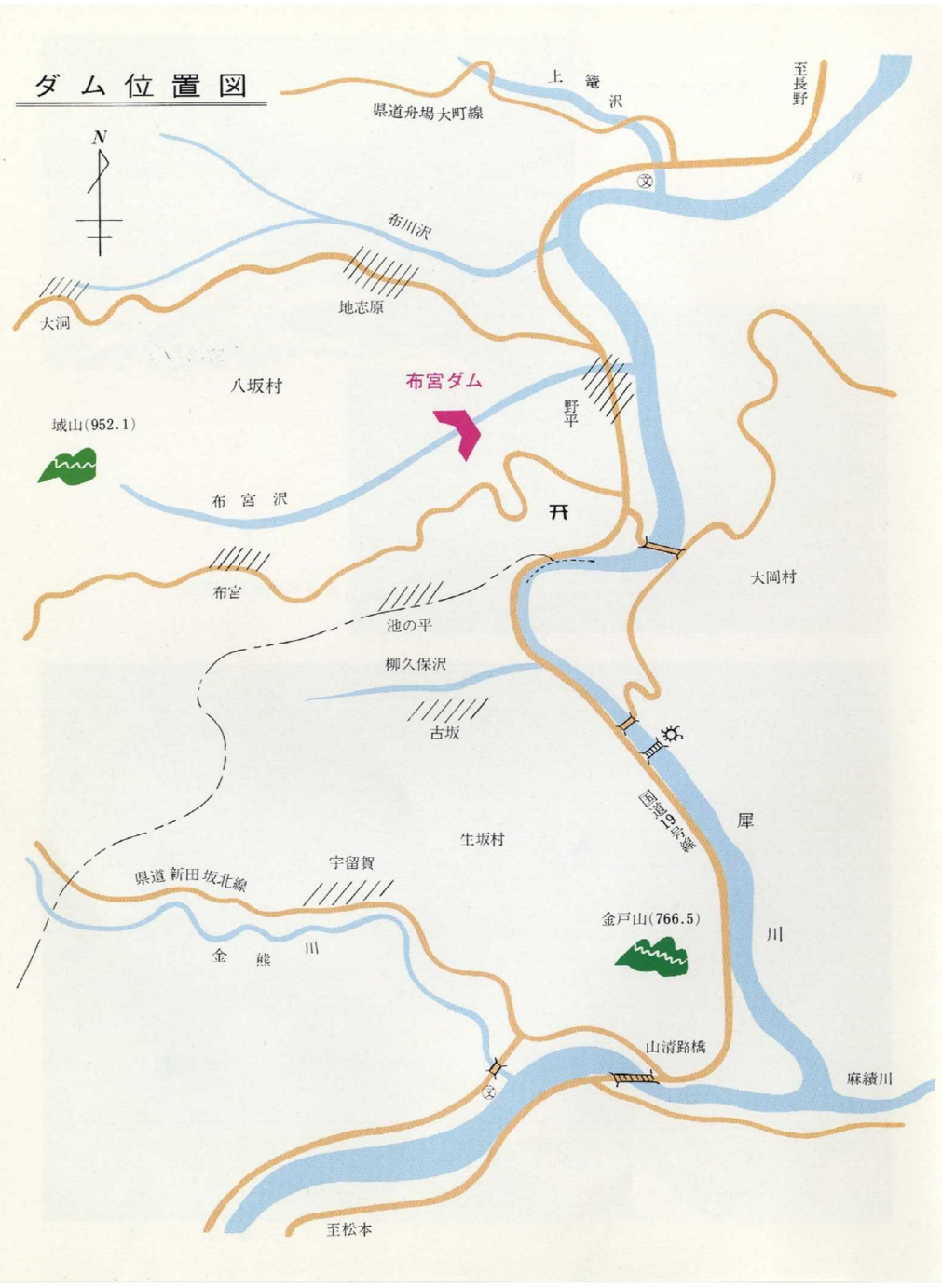


布宮砂防ダム



1981

長野県土木部犀川砂防事務所
八 坂 村



ダムの諸元

1. 河川名 信濃川水系犀川支布宮沢
2. ダムの位置 長野県北安曇郡八坂村字布宮
3. ダムの諸元

流域面積	1.7km ²	最大洪水量	27.2 m ³ /s
最大時間雨量	60.0mm	現況河床勾配	1/23
流出係数	0.8	計画堆砂量	92.800m ³
土砂混入率	20.0%	有効貯水量	29.000m ³
比流量	16.0% _兎	湛水面積	6.000m ²

4. ダムの概要

- (1) 型式 コンクリート重力式
- (2) 主要部寸法

工種各部	本ダム	副ダム	側壁水叩部		摘要
			側壁	水叩	
堤長	75.0m	31.0m	22.02m	19.81m	
堤高	19.0m	8.5m	7.60~10.0m	1.5m	
天端巾	2.0m	2.0m	0.5~1.5m	7.86~8.7m	
堤底巾	18.15m	6.25m	2.78~3.02m	6.96~7.8m	
立積	8,245.58m ³	677.53m ³	413.12m ³	816.91m ³	
道路関係	L=571.6m W=3.0m				

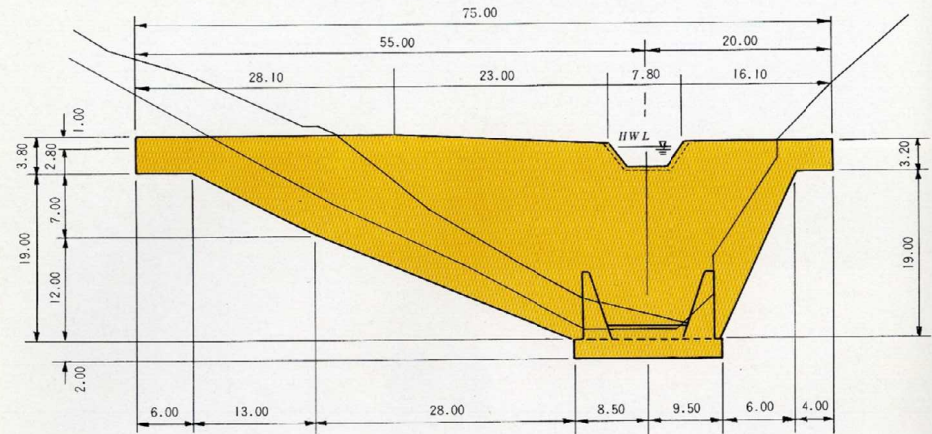
5. 事業効果

耕地安定	かんがい面積	人家	道路	橋	染
5.0 ha	22.0 ha	50戸	300m		4

6. 施工期間 着工 昭和50年4月 しゅん工 昭和56年10月
7. 事業費 384,000千円

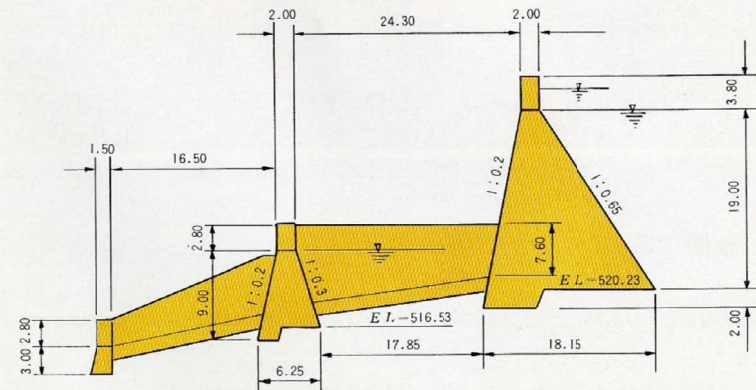
正面図

S=1:600



側面図

S=1:600



布宮砂防ダム概要

布宮沢は、八坂村の東方にあたる城山（標高952.0m）に源を發し、一級河川犀川に合流する延長約2.4kmの急流荒廢河川である。

本地域の地質は、第三紀層に属し、流域は急峻かつ狹隘で両岸は浸食作用により各所に崩壊が多数あり、降雨時には多量の土砂を急送し、下流に多大の被害を与えている。

また下流は人家が密集し、八坂村有数の穀倉地帯で国道19号線が貫通している。

なお上流部には第三紀層特有の地すべり地帯があり、年々防止工事を行っているが未だ万全とするには至っていない。

当ダムの完成は、地域住民が永年待望したもので治山、治水及び堆砂進行の間の水利用にも大きな期待がもたれている。

着工前ダムサイド ▶



◀ ダム本体打設開始



湛水状況